



令和5年度

東郷町多職種カンファレンス の 目的と進め方



東郷町イメージキャラクター
トッピー

令和5年度からの 多職種カンファレンス

東郷町多職種カンファレンスの進め方



地域課題について、
実際に検討することで、
個の問題にとどまらず、
ケースを考える
視野が広がります



東郷町多職種カンファレンスの特徴



- ① 会場のみの開催に変更 (**Zoomなし**)
➔ 参加者が対面で顔を合わせケースの検討をします
- ② **半グループワーク方式**での事例検討
➔ 積極的に検討の輪に入ることができます
- ③ 事例は事前に**3つの論点**に整理
➔ グループワークでの話題を集約できる
- ④ グループワークで出た意見をホワイトボードに板書し
「見える化」します
- ⑤ グループワークで出た意見を踏まえ、再度グループで
地域課題について検討します

(令和4年度までは事務局で実施)

多職種カンファレンスとは…



自立支援の視点を踏まえた「**地域ケア会議**」です



- ① ケース対象者 = **本人**  を中心として、
「住み慣れた地域で、本人が望む暮らしを続けること、かなえること」
ができるよう、各職種の視点から意見交換し、自立支援の視点を意識し
ケースを考える。



- ・本人の自分自身でできることまで奪ってしまっていないか？
- ・何か新たな支援を加えたり工夫することで、改善することはないか？
- ・本人の言葉に隠された意図はないか？

- ② 個のケースを通じて、地域の高齢者全般に共通する課題は何か？
介護保険サービスの他に活用できる地域資源はあるか？を考え、
「地域課題」を抽出する。

ケース1

本人概要		【ジェノグラム】	
世帯構成・住環境		<div data-bbox="1067 225 1620 549" style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; background-color: #ffff00;"> 食事、入浴以外にも 詳しく聞き取り、どのように 過ごしているか聞く </div>	
家族情報 (キーパーソン)			
<div data-bbox="314 415 1091 901" style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; background-color: #ffff00;"> 本人についての情報を多く収集 することで、本人の人となり が分かり、今まで知ること のなかった一面も知ること ができる！ </div>			
服薬		一日の過ごし方	
生活歴	生い立ち <small>(出身・学校や仕事、結婚を含む)</small>		
	楽しみ・趣味・特技 <small>(ご本人の楽しいと思うことは何か)</small>	【現在楽しみにしていること】	【特技/以前やったこと】
	友人・地域との関係 <small>(誰とどこで何をしているか)</small>	【なじみの人】	【よく行く場所】

本人の望む暮らし
(どのような暮らしを
していきたいか・
やってみたいこと・
続けていきたいことなど)

本人の強み
(できることや人間関係、
環境因子など)

ケアマネジャーが
必要と考える支援
(本人の望む暮らしに
近づくためには)

本人の望む暮らしの
実現に向けた
総合的な課題
(3つ程度)

本人の言葉に耳を傾ける。なん
でそう思うのか？も聞いてみる。
また生活歴をヒントに、こちらから
もこんなことはどうか？など提案を
して望む暮らしを探る。

導入した目的・理由は何
か？をあえて振り返ることで、
必要性が見えてくる。

現
在
の
支
援
内
容

フォーマルサービス

インフォーマルサービス
(ご近所・友人・習い事など)

内容

頻度

導入目的・理由



【目的】

- ① 本人を中心として「**住み慣れた地域で生活続ける**」、「**本人の望む暮らしをかなえる**」ことができるよう、介護サービスにとどまらず、地域の資源を活用し、**自立支援や介護予防の視点を意識してケースを考える視点の習得**。（自立支援型ケアマネジメント）
- ② 個にとどまらず、他のケースでも共通する課題や地域の資源について検討する。（**地域課題の抽出**）
- ③ 他の職種の視点から学ぶ、新たな視点の習得及び共有（**専門性の技術移転**）
- ④ 多職種の顔の見える関係性の構築（**相談しやすい体制づくり**）



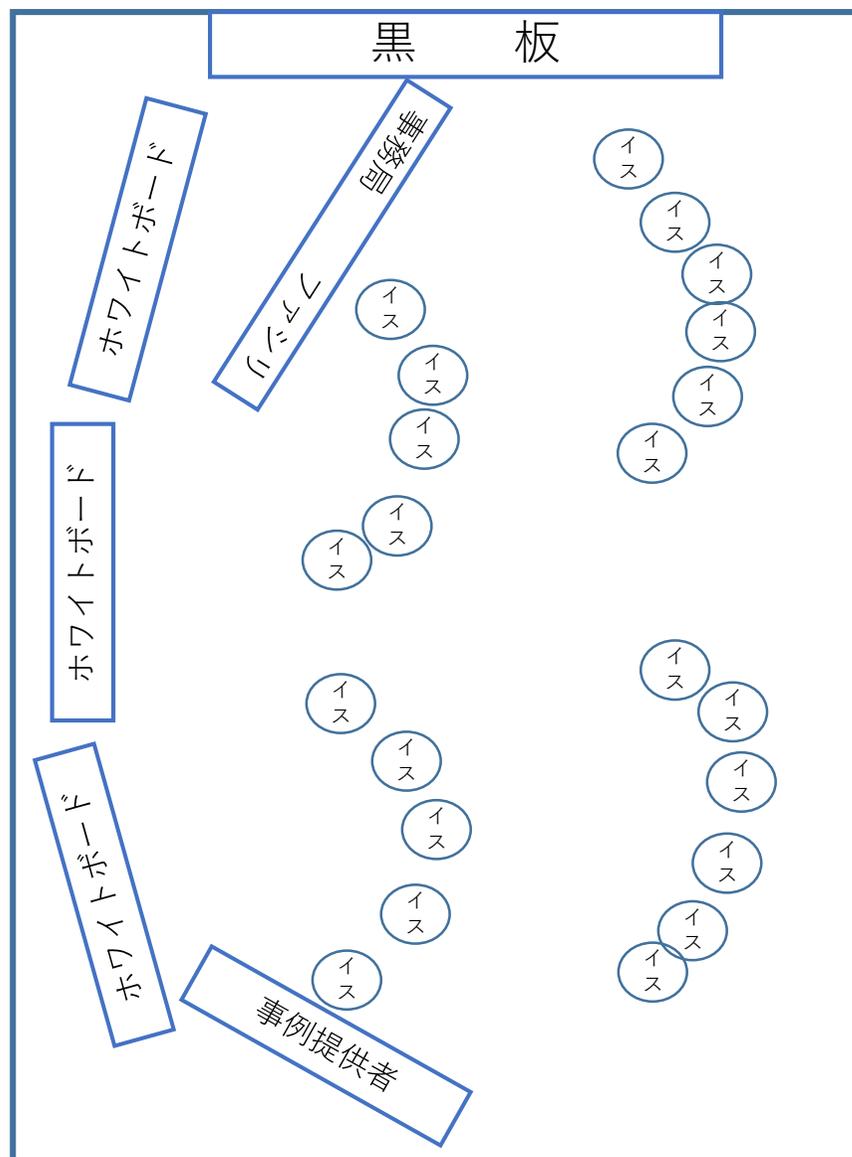
令和5年度からの多職種カンファレンスの流れ

項目	時間	ポイント
プラン 説明	10分	<ul style="list-style-type: none"> ○現在の状況に至った要因（個人因子・環境因子）を簡潔に説明 ○ADL及びIADLの説明→改善可能なポイントはどこか？ ○本人の人となりや今までの生活、望む暮らしを中心に説明 ○今後の見立て及び総合的な課題について説明
質問		事例提供者や参加者へ質問を投げかけるときは、その“意図”も添えましょう
グループ 意見交換	15分	3つの論点を中心に、グループで意見を交換する。 グループはできるだけ、多くの職種と意見交換ができるよう配慮して構成する。
グループ 発表	20分	グループ意見交換で出た意見を発表し、意見の共有をする。 (ホワイトボードに板書し「見える化」する)
おさらい	5分	グループで出た意見の要点をまとめる
地域課題 の検討	10分	意見を踏まえ、グループで地域の課題や地域資源について話し合う。
グループ 発表	15分	グループで検討した地域の課題や地域資源について発表し、意見の共有をする。 (ホワイトボードに板書し「見える化」する)
総括	10分	地域課題や地域資源についてのまとめ (現在の地域資源についての情報提供を含む)

当日の会場設営等

- ・Zoomは使用しない。
- ・半グループワーク形式。
- ・横向きに会場を使用する。
- ・板書する人が必要。
- ・地域課題リストはファシリの手元資料とする。参加者には見せない。
(自分たちの言葉で課題を述べてもらう)

ファシリ : 主任CM 1人
司会進行 : 包括 1人
板書 : 包括 1人
マイク係 : 包括 1人
事例提供者 : CM等1人
議事録 : 役場1人



各職種に求められる役割

参加者は自らの専門分野を中心に内容をチェックする

○**医師・看護師・薬剤師**…想定される医療上のリスク、注意点、服薬内容

○**保健師**…予防的観点や生活全般に対する健康管理の視点

○**歯科衛生士**…摂食・嚥下機能や義歯・口腔内衛生状況

○**管理栄養士**…栄養面のリスク、注意点、食事内容

○**社会福祉士**…独居、認知症等に対する権利擁護的な視点

○**理学療法士・作業療法士**…疾病特有の予後、機能改善のポイント、生活上の注意点

○**ケアマネジャー**…自立支援に資するプランか、サービス量は適当か

○**地域支え合いコーディネーター**…地域の資源（介護保険外サービス等）



他の職種の視点を学び習得する「専門性の技術移転」